

大学院理工学研究科について

本学大学院理工学研究科は、博士課程（前期課程）、博士課程（後期課程）の両課程からなる博士課程で、情報工学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻、数理環境科学専攻の5専攻を設置している。

博士課程（前期課程）は、広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としている。標準修業年限は2年であり、所定の単位を修得して学位論文の審査に合格し課程を修了すると修士（工学）の学位が授与される。応用化学専攻、数理環境科学専攻は、指導教員の指導のもと修士（工学）、修士（理学）を選択することができる。

また、博士課程（後期課程）は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としている。標準修業年限は3年であり、研究指導を受けた上、学位論文の審査に合格し課程を修了すると博士（工学）の学位が授与される。応用化学専攻、数理環境科学専攻は、指導教員の指導のもと博士（工学）、博士（理学）を選択することができる。

多くの学部生諸君が大学院へ進学し、個々の能力を高められることを期待している。

○入学試験について（2026年度入学試験実績）

本学大学院理工学研究科の実施する入学試験には以下のものがある。

〔博士課程（前期課程）〕

1. 大学の卒業（見込み）者を主たる対象とする試験。〈6月中旬出願、7月上旬実施〉
2. 大学に3年以上在学する者を対象とする試験（いわゆる「飛び入学」入試）。〈1月中旬出願、2月下旬実施〉
3. 大学を卒業し、2年以上教育・研究機関等で研究に従事した者を対象とする試験（いわゆる社会人入試）。〈6月中旬出願、7月上旬実施〉

〔博士課程（後期課程）〕

1. 修士学位取得（見込み）者を主たる対象とする試験。〈1月中旬出願、2月下旬実施〉
2. 大学を卒業または修士の学位を得た後、2年以上教育・研究機関等で研究に従事した者を対象とする試験（いわゆる社会人入試）。〈6月中旬出願、7月上旬実施ならびに1月中旬出願、2月下旬実施（ただし、出願前に事前審査がある場合がある）〉

〈参 考〉

- ・博士課程（前期課程）の各専攻では、各々本学情報系学科・電気系学科・機械系学科・化学系学科・環境システム学科・数理システム学科の卒業見込者を対象に人物、成績ともに優秀で各専攻が特に認めた者については、学科試験の一部を免除することがある。
- ・いわゆる「飛び入学」入試の出願資格は、下記の通りとなっている（ただし、2026年度入学試験における出願資格）。

修得単位数と学業成績

大学在学期間が3年間に達した段階において、下記の全ての条件を満たす見込みの者。

1. 在学する大学の第3年次配当までの必修科目の単位を全て修得する。
2. 卒業必要単位数の90%以上を修得する。
3. 単位を修得した科目の4分の3以上（科目数）が、GPA制度におけるB評価以上（素点評価については80点以上）の評価を得る。

ただし、上記2、3において、修得単位のうち卒業要件に算入されない単位は、これらの算定に含まない。

なお、12月頃に出願に関する案内を掲示するので、「飛び入学」入試の受験を検討している者は注意すること。

- ・入学試験要項は、例年6月から大学ホームページにて請求できる。正門門衛所では無料で配付する。
- ・入学試験問題は、過去1年分が「大学院入試ガイド」に掲載されている。また、過去3年分のみ理工学部・理工学研究科事務室にて貸し出しを行う。

・近年の入学試験合格者数(ただし、「飛び入学」入試・社会人入試・「9月入学」入試・外国人留学生入試を含まない)

	専 攻	2026年度	2025年度	2024年度	2023年度
博士課程 (前期課程)	情 報 工 学	93	88	82	63
	電気電子工学	89	97	61	80
	機 械 工 学	117	100	130	113
	応 用 化 学	99	91	104	91
	数理環境科学	36	34	23	25
博士課程 (後期課程)	情 報 工 学	— *	2	1	3
	電気電子工学		2	0	0
	機 械 工 学		5	3	1
	応 用 化 学		2	1	2
	数理環境科学		0	1	1

*2026年2月下旬実施

○大学院学則（修了要件等記載）や理工学研究科授業科目は、大学院履修要項を参照のこと。

また、入試制度を含めて質問等あれば理工学部・理工学研究科事務室まで問い合わせること。

路線の不通または暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・期末試験の実施について

路線が不通の場合や暴風警報、特別警報が発表された場合には、授業および期末試験の実施について以下の措置をとります。

I. 路線が不通の場合

- ・「1. 対象となる路線」の定める条件に合致した場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。
- ・開通後は、「2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。
- ・該当交通機関の事故等による一時的な運転見合わせの場合には、平常どおり授業・期末試験を実施しますのでご注意ください。

1. 対象となる路線

次のイ、ロ、ハのいずれかひとつの条件に合致する場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。

[今出川校地]

イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合

ロ. 次表の a～d の 2 以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間

[京田辺校地]

イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合

ロ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合

ハ. 次表の a～e の 2 以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間
e	JR	木津～京橋間

2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時

開通後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

開通時刻	開始講時
6 時 30 分までに開通	1 講時から実施（平常どおり）
10 時 40 分までに開通	3 講時から実施
15 時 55 分までに開通	6 講時から実施
15 時 56 分時点で不通が継続中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

開通時刻	開始講時
6 時 30 分までに開通	1 講時（9 時 30 分）から実施（平常どおり）
10 時 00 分までに開通	2 講時（13 時 00 分）から実施
12 時 30 分までに開通	3 講時（15 時 30 分）から実施
12 時 31 分以後に開通	全講時実施しない

Ⅱ．暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・「1．警報発表対象地域」に示す表の府県予報区、一次細分区域、市町村等をまとめた地域、または二次細分区域のいずれかひとつを対象に暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時から、その日の授業・期末試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中もしくは開始直前の授業・期末試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は非常に危険な状況にあります。特別警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除後、危険が回避されたことが確認された場合には、「2．警報解除時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。ただし、状況判断の上、別途指示することがあります。

1．警報発表対象地域

府県予報区	一次細分区域	市町村等をまとめた地域	二次細分区域
京都府	南部	南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
		京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
		山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
		山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村
大阪府	大阪府	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
		東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
		大阪市	大阪市
		南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
		泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

2. 警報解除時刻と授業・期末試験開始講時

警報解除後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

警報解除時刻	開始講時
6 時 30 分までに解除	1 講時から実施（平常どおり）
10 時 40 分までに解除	3 講時から実施
15 時 55 分までに解除	6 講時から実施
15 時 56 分時点で警報が発表中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

警報解除時刻	開始講時
6 時 30 分までに解除	1 講時（9 時 30 分）から実施（平常どおり）
10 時 00 分までに解除	2 講時（13 時 00 分）から実施
12 時 30 分までに解除	3 講時（15 時 30 分）から実施
12 時 31 分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

- Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・期末試験を行うことが困難もしくは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。
- Ⅳ. I. に定めた路線において計画運休の確定情報が発表された場合、不通となる路線に応じて、授業の休講、期末試験の中止などの措置をとることがあります。
- Ⅴ. 路線の不通や暴風警報・特別警報の発表、荒天・自然災害などにより、平常どおり授業・期末試験を行うことができない時には、大学 HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class 等を利用して、大学や授業担当者から、必要に応じた連絡を行います。
大学 HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class 等をこまめに確認してください。

以上